

ロームシアター京都オープニング事業

# KYOTO EXPERIMENT 2016

京都国際舞台芸術祭

SPRING

Kyoto International Performing Arts Festival

【開催期間】

2016年3月5日〈土〉-3月27日〈日〉

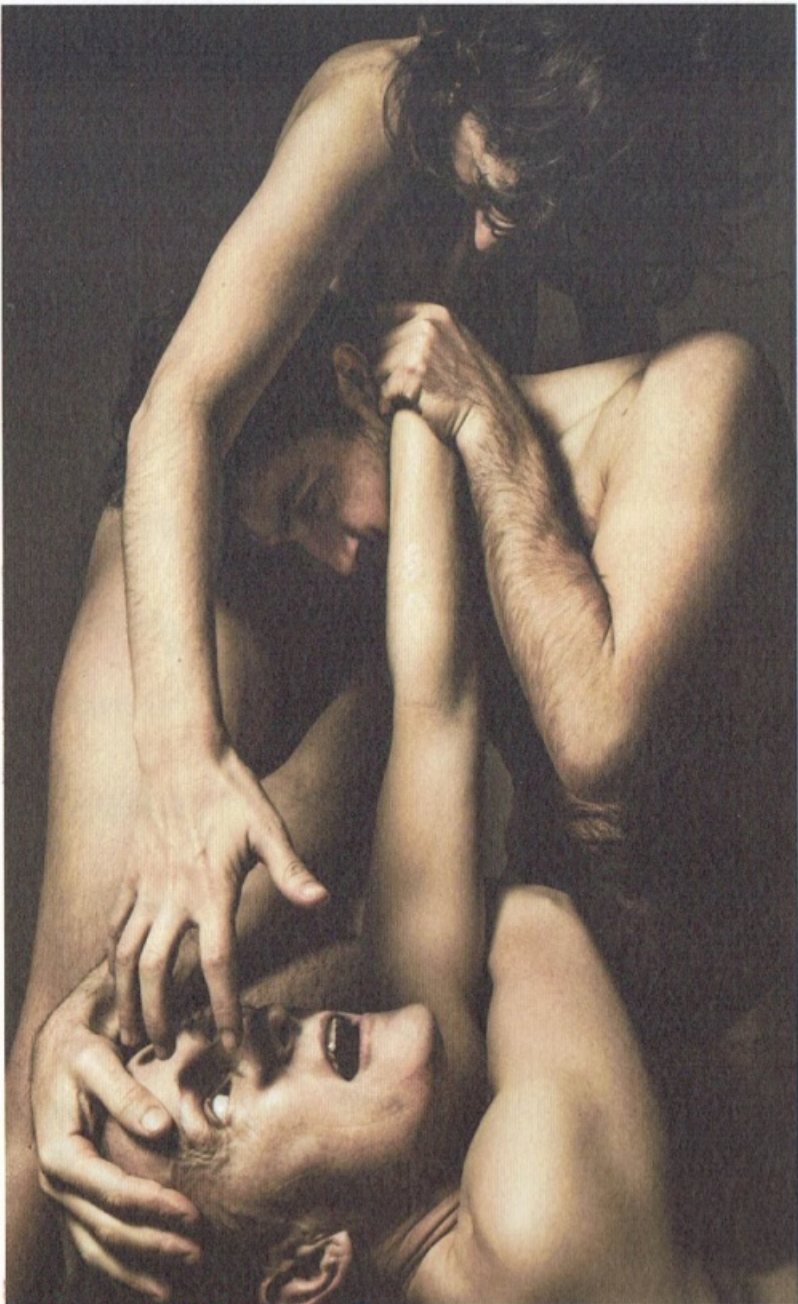
【公式プログラム】

ダヴィデ・ヴォンパク 地点 チョイ・カファイ 松本雄吉 × 林慎一郎  
大駱駝艦 チェルフィッチュ トリシャ・ブラウン・ダンスカンパニー  
マヌエラ・インファンテ/テアトロ・デ・チレ 足立智美 × contact Gonzo  
ボリス・シャルマツ/ミュゼ・ドゥ・ラ・ダンス researchlight

\* 公演の最新情報はKYOTO EXPERIMENT公式ウェブサイトをご覧ください [www.kyoto-ex.jp](http://www.kyoto-ex.jp)

主催：京都国際舞台芸術祭実行委員会（京都市、ロームシアター京都、公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、京都芸術センター、  
公益財団法人京都市芸術文化協会、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター）

助成：平成27年度文化庁国際芸術交流支援事業費、公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド



# ダヴィデ・ヴォンパク

David Wampach

## 渴望 URGE

この数年、世界各地のダンスフェスティバルや劇場に招聘されて作品を発表するなど、これからのフランス・ダンス界を担う存在としてみます注目を集めているダヴィデ・ヴォンパク。2011年にレジデンスアーティストとして京都のヴィラ九条山で行った6カ月の滞在制作以来、日本を度々訪れ、今回の来日に際しても寺山修司のリサーチを予定するなど、日本のアンクラ演劇における肉体のあり方にも関心を寄せている。日本初演となる『渴望(原題: URGE)』は、カニバリズムをテーマとして掲げたパフォーマンス。通常、「食人」と訳されるカニバリズムは、人間としての極限の原始的行為であり、社会的良識に背くタブー、そして他者を私物化する行為ともいえる。この数年、「儀式」や「トランス」といった行為を探究しているヴォンパクにとって、センセーショナルにも思われるカニバリズムとは何か。取り遣ました身体は舞台に引きずり出され、あられない肉体として観客の前に立ち現れる。「カニバリズム」を切り口に、作品はあらゆる関係性に内包される欲動やぼとばする感情について語りかけることになる。

ダヴィデ・ヴォンパク David Wampach — フランスを拠点に活動するダンサー・振付家。モンペリエ大学で医学を学び、次いでエクス・アン・プロヴァンス大学とマルセイユ音楽院で演劇を学んだ後、ダンスへ向かう。イストルのコリーヌ・カンパニー、マチルド・モニエがディレクターを務めるモンペリエ国立ダンスセンターのEx.e.r.c.e、アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルがディレクターを務めるブリュッセルのP.A.R.T.S.で研修を受ける。マチルド・モニエ、オディール・デュボック、クリスチャン・リゾーらの作品に参加。2001年、演劇的なアプローチと造形美術的なアプローチを融合したスタイルを確立、Association Achlesを結成する。近年の活動として、「儀式」と「トランス」をテーマにした初の短編映像作品『RITE』(2013)および、自らの呼吸のリズムののっとられる身体を描いたソロ作品『TOUR』(2013)を手がける。2014年には、ヴォンパクがアソシエイトアーティストとして所属するLe Cratère 国立劇場(アレス)のフェスティバルのためにデュエット作品『VEINE』を制作。2011年レジデンスアーティストとして京都のヴィラ九条山に6ヶ月滞在。同年のKYOTO EXPERIMENTにてダンスワークショップを行った。

www.davidwampach.eu

Photo: Martin Colombet

3月5日(土) 18:00-  
3月6日(日) 20:00-  
3月7日(月) 20:00-

上演時間 55分

年齢制限 12歳未満は保護者の同伴が必要

自由席[前売]一般 2,500円

ユース(25歳以下)・学生 2,000円

シニア(65歳以上) 2,000円

高校生以下 1,000円

ペア 4,500円

※当日券は前売券+500円(高校生以下は同額、ペアは前売のみ)

### アーティストトーク

ダヴィデ・ヴォンパクが今回の来日に際して行う新作のためのリサーチと自身の作品についてお話しします。

3月23日(水) 18:00-19:30

会場: 京都芸術センター 和室「明倫」

聞き手: 橋本裕介(KYOTO EXPERIMENTプログラムディレクター、  
ロームシアター京都プログラムディレクター)

料金: 無料(申込不要)

言語: フランス語(日本語での逐次通訳あり)

主催: ヴィラ九条山, KYOTO EXPERIMENT

九条山 LABEL ■■  
KUJOYAMA  
プロジェクト

助成: アンスティチュ・フランセパリ本部 INSTITUT FRANÇAIS



ロームシアター京都 ノースホール

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町 13 Tel 075-771-6051

京都市バス「岡崎公園」ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ。  
京都市営地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分

# KYOTO EXPERIMENT 2016

# チョイ・カファイ

Choy Ka Fai

## ソフトマシーン： スルジット&リアント

SoftMachine: Surjit & Rianto

ダンサーに刻まれた記憶や経験、身体言語を探り、掴みとること。ベルリン在住のシンガポール人アーティストのチョイ・カファイは、アート、デザイン、テクノロジーを援用しながら、振付家やダンサーへのリサーチを続けている。なかでも、2012年のKYOTO EXPERIMENTでスタートした作品シリーズ「ソフトマシーン」は、アジアにおけるコンテンポラリーダンスの途方もないインデックスを作成しようとする試みであり、京都ではcontact Gonzoの塚原悠也がその焔上にあげられた。その後もリサーチ、制作が続けられている『ソフトマシーン』から、今回はインドのスルジット・ノングメイカバム、インドネシアのリアントという、ふたりのダンサー・振付家との作品を紹介する。それぞれの国の古典舞踊を学びながら、伝統に留まらないコンテンポラリーな活動を続けるふたり、そのドキュメンタリー作品でありながら、アジアへの図式的理解を食い破るダンサーの豊かな身体を目撃する機会ともなるだろう。また、アジアの身体へと深く潜っていくリサーチの行方は、日本の観客にとってダンスに限定されない切実さをもって浮かび上がるに違いない。

チョイ・カファイ Choy Ka Fai——演出家・アーティスト・マルチメディアパフォーマー。シンガポール生まれ、ベルリン在住。未来の不確定さをあわせ持つ歴史や理論にインスピレーションを受けて作品を制作。人間の身体、および、記憶や表現を生み出す源といった実体のないものへの探求がテーマになっている。こうした要素がアート、デザイン、テクノロジーと複雑に出会う場所を作品化する。シンガポール国立芸術協議会の海外助成を得て、ロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アート（デザインインタラクション）を卒業。2010年にはシンガポールヤングアーティスト賞を受賞。2014-2015年は、ベルリンのKunsterhaus Bethanienにてレジデンスアーティストとして滞在制作を行う。シンガポールアートフェスティバル（2012）、Tanz Im August Berlin（2013、2015）、ImPulsTanz Festival Vienna（2015）を始めとする主要な国際フェスティバルで作品を発表している。

3月11日<金> 19:30-  
3月12日<土> 15:00- ●●  
3月13日<日> 19:00-

上演時間 100分(休憩含む)  
上映言語  
英語など(日本語での逐次通訳および字幕あり)

自由席[前売]一般 2,500円  
ユース(25歳以下)・学生 2,000円  
シニア(65歳以上) 2,000円  
高校生以下 1,000円  
ペア 4,500円

※当日券は前売券+500円  
(高校生以下は同額、ペアは前売のみ)

同時開催 [展示]「ソフトマシーン」  
3月5日(土)~3月13日(日)  
10:00-20:00  
京都芸術センター フリースペース  
会期中無休・入場無料



### 京都芸術センター講堂

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下  
山伏山町546-2 Tel 075-213-1000

京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」下車、  
22・24番出口より徒歩5分



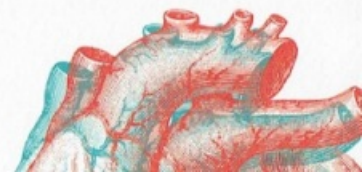
### スルジット・ノングメイカバム Surjit Nongmeikapam

ダンサー・振付家。インド・マニプル出身。Natya Institute of Kathak and Choreography 卒業。Natya Stem Dance Kampni (バンガロー)ではコンテンポラリーダンサーとして、また、Natya Maya (バンガロー)では古典舞踊のダンサーとして活動。その他、フリーランスのダンサーとして海外の振付家ともコラボレーションを行う。Theater Spektakel Zurich (2012)、Monsoon (ボザール、ブリュッセル、2013)、Somarts (サンフランシスコ、2014)などで作品を発表している。

### リアント Rianto

ダンサー・振付家。インドネシアと東京を拠点に活動。インドネシア・パニユマス生まれ。ジャワの古典舞踊を幅広くマスターしながら、レングルとよばれるインドネシアの伝統舞踊を専門にする。東京のデワンドル・ダンスカンパニーのディレクターでもある。スリランカのAcademy of Dance (ISI)を卒業後、北村明子、Sen Hea Ha (韓国)、Chen Shi Zheng (中国)をはじめとする振付家や演出家とコラボレーションを展開、国際的に活躍している。

京都発、世界各地から集う先鋭的な舞台芸術を紹介する国際舞台芸術祭「KYOTO EXPERIMENT」。演劇やダンスのみならず美術、音楽、デザイン、建築にまたがる実験的な11の公式プログラムの中から、ダンスにまつわる4作品を紹介します。いずれも世界各地のフェスティバルで紹介され注目を集める話題作の日本初演！





# KYOTO EXPERIMENT 2016

京都国際舞台芸術祭 Kyoto International Performing Arts Festival

SPRING

## トリシャ・ブラウン・ダンスカンパニー

Trisha Brown Dance Company

## Trisha Brown: In Plain Site

モダンダンスからポスト・モダンダンスへ。その転換を生み出した最も実り多い時代の当事者として、トリシャ・ブラウンの名前は世界のコンテンポラリーダンス史に刻まれている。1960年代初め、それまでのモダンダンスを刷新する即興的、実験的な創作方法を実践した集団「ジャッドソン・ダンス・シアター」で活躍をはじめ、その後、音楽家のジョン・ケージ、ローリー・アンダーソン、美術家のドナルド・ジャッドやロバート・ラウシェンバーグ、そして、振付家のマース・カンニングハムら、さまざまなアーティストと創作の時間を共有しながら、コンテンポラリーダンスの牽引者として最前衛に立ち続けてきた。ブラウンがダンス界に与えた影響から言えば、日本での公演は数えるほど。ブラウン自身は2014年、カンパニーの代表を退いているが、彼女の作品アーカイブを再構成する形で、カンパニーは世界ツアーを行い、その一環で京都公演が実現する。用意された舞台は京都国立近代美術館。劇場から解放されて公共空間でのパフォーマンスを行っていた、実験精神みなぎる初期作品をオムニバス形式で上演する。50年近い時間を越えて、現代に響きあうブラウン作品。非劇場でのパフォーマンスはその鋭敏な批評性と明るい魅力を見るに絶好の機会といえるだろう。

トリシャ・ブラウン・ダンスカンパニー Trisha Brown Dance Company — 1970年に伝説的なダンサー、振付家であるトリシャ・ブラウンによって設立。ダンス作品の制作、公演、およびブラウンの作品を守り伝えることを目的に、世界各国での公演やダンスの指導を通して、観客および多くのアーティストたちとの関係を築いてきた。2014年ブラウンが76歳でカンパニーの代表から退き、長年カンパニーのメンバーであったダイアン・マデンとキャロライン・ルーカスをアソシエイト・アーティストティックディレクターに任命した。カンパニーは、2012年から3年間にわたり「Proscenium Works, 1979-2011」のツアーでアメリカ国内と世界諸都市全45ヶ所での公演を行った。2016年には、トリシャの作品を才能ある振付家が新たな視点で捉え直し、美術館やサイトスペシフィックな場所で発表するプロジェクトを予定している。より幅広い観客と出会うために、非劇場型のパフォーマンス、上映会、教育普及、展覧会、対話の場を始めとする様々なプログラムやオンライン上でのアーカイブの公開も積極的に行っている。

www.trishabrowncompany.org



Trisha Brown Dance Company, Group Primary Accumulation, Museo Universidad Navarra Pamplona 2015. © Alexandre Moyrand



Trisha Brown Dance Company, Sticks in Dan Flavin's Gallery at the Lenbachhaus in Munich (Germany), July 2014. DAN FLAVIN: UNTITLED (FOR KSENIJA). © Städtische Galerie im Lenbachhaus und Kunstbau München

3月19日〈土〉 19:00 -  
 3月20日〈日〉 19:00 -  
 3月21日〈月祝〉 19:00 - ●

上演時間 60分

[前売] 一般 3,000円  
 ユース(25歳以下)・学生 2,500円  
 シニア(65歳以上) 2,500円  
 高校生以下 1,000円  
 ペア 5,500円

※当日券は前売券+500円(高校生以下は同額、ペアは前売のみ)  
 ※客席のご用意はありません

助成: USArtists 国際プログラム(全米芸術基金およびアンドリュー・W. メロン財団の提携による)、日米友好基金



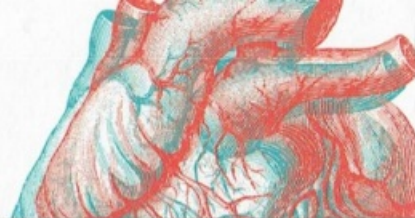
京都国立近代美術館 1F ロビー  
 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町  
 Tel 075-761-4111

京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ。  
 京都市営地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩 10分



京都発、世界各地から集う先鋭的な舞台芸術を紹介する国際舞台芸術祭「KYOTO EXPERIMENT」。  
演劇やダンスのみならず美術、音楽、デザイン、建築にまたがる実験的な11の公式プログラムの中から、  
ダンスにまつわる4作品を紹介します。いずれも世界各地のフェスティバルで紹介され注目を集める話題作の日本初演！

●ポスト・パフォーマンス・トークあり ●上演前にプレ・パフォーマンス・トークあり ●託児サービスあり [有料・4日前までにKYOTO EXPERIMENT事務局(075-213-5839、平日11:00-19:00)まで要予約]



## ボリス・シャルマツ / ミュゼ・ドウ・ラ・ダンス

Boris Charmatz / Musée de la danse

### 喰う manger

1996年、「バニョレ国際振付家コンクール」の振付賞と最優秀ダンサー賞を  
23歳で受賞して、華々しくコンテンポラリーダンス界に  
デビューしたボリス・シャルマツ。

2011年には、アヴィニョン演劇祭のアソシエイト・アーティストとして『enfant』を発表。  
大人の暴力、欲望の対象とされる子どもたちが、  
一転して大人を迫いたような舞台は、現代の鮮やかなネガ/ポジとなっていた。

2015年には、ダンスというレンズを通してみることで美術館を別の空間へと  
変貌させる『テートモダンがMusée de la danseだったら?』および、  
オペラ座バレエ団のダンサー20人が、パリのガルニエ宮のパブリックスペースで踊る  
シリーズの最新作『20世紀のための20人のダンサー』を発表し話題に。

シャルマツは、世界の注目を集める存在であり続けている。

2014年にドイツで初演された本作の原題「manger(マンジェ)」は、  
直訳すれば「食べる」の意。通常のダンス表現では

あまり重要な役を与えられない「口」をムーブメントの中心にして、  
食べることから歌うこと、そして、呼吸や消化といった  
根源的な行為へとダンサーの身体が駆り立てられることになる。

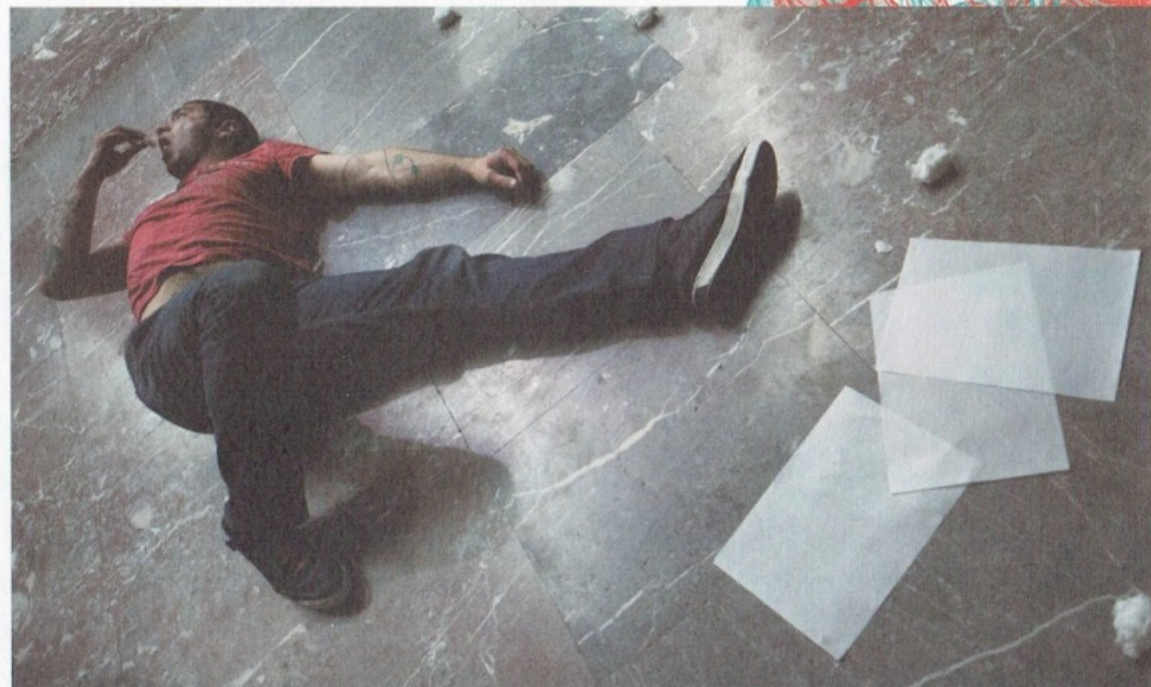
食べ物に見立てられた何かに激しく噛みつき、飲みこみ、咀嚼し続けるパフォーマーの行為を、  
現実を消化している姿とみるか、宗教的な祈りの表現とみるか。

あるいは、身体を使った劇画、サウンドインスタレーションだろうか。

そして、最後にはすべてが消えてなくなる。

ボリス・シャルマツ Boris Charmatz——ダンサー、振付家。『Aatt enen tionon』(1996)や『manger』  
(2014)をはじめとする数々の優れた作品を世に送り出している。パフォーマーおよび即興ダンサー  
としても活動を展開。イザベル・ローネーとの共著『Undertraining / On A Contemporary Dance』  
やジェローム・ベルとの共著『Emails 2009-2010』の他、移動型の学校プロジェクトBocalを回顧  
した『Je suis une école』の著者でもある。2011年アヴィニョン演劇祭のアソシエイト・アーティ  
スト。2009年からは、ブルターニュ国立劇場(レンヌ)を新たなダンスのミュージアムに生まれ  
変わらせるべく、同劇場のディレクターを務めている。

www.museedeladanse.org www.borischarmatz.org



Boris Charmatz / Musée de la danse, Manger, 2015. Photo: Benjamin Boar

3月26日(土) 17:00- ●●

3月27日(日) 14:00- ●●

上演時間 90分(トーク30分+パフォーマンス60分)

上演にあたってのご注意

未就学児入場不可。開演後は入場できません。

[前売]一般 3,500円

ユース(25歳以下)・学生 3,000円

シニア(65歳以上) 3,000円

高校生以下 1,000円

ペア 6,500円

※パフォーマンスでは客席のご用意はありません。

※当日券は前売券+500円(高校生以下は同額、ペアは前売のみ)

助成:平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業費、  
アンスティチュ・フランセパリ本部

INSTITUT  
FRANÇAIS



京都芸術劇場 春秋座  
(京都造形芸術大学内)

〒606-8271 京都市左京区北白川生山  
2-116 京都造形芸術大学内

Tel 075-791-8240

京都市営地下鉄丸太線「北大路駅」(北大路バス  
ターミナル)より、市バス204系統「高野・銀  
閣寺」ゆき「上終町京都造形芸大前」下車すぐ